

令和3年度第1回防府市観光振興推進協議会 会議録要旨

■ 開催日時	令和3年11月4日(木) 午前10時から午前11時30分まで								
■ 場 所	防府市1号館3階 南北会議室								
■ 出席者	<p>【委員】羽嶋委員、中司委員、種田委員、吉谷委員、田中委員、西村委員、平井委員、多田委員、広政委員、 (欠席者)加藤委員、宇野委員</p> <p>【事務局】能野地域交流部長、亀井地域交流部次長、福谷課長、山本課長補佐、 靄岡係長、藤井主任</p>								
■ 報 道	1人 (中国新聞社)								
■ 傍 聴 者	なし								
■ 議 事	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td>第2次防府市観光振興基本計画のK P I達成等の報告について</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>第3次防府市観光振興基本計画の進捗状況の報告について</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>意見交換</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>その他</td> </tr> </table>	1	第2次防府市観光振興基本計画のK P I達成等の報告について	2	第3次防府市観光振興基本計画の進捗状況の報告について	3	意見交換	4	その他
1	第2次防府市観光振興基本計画のK P I達成等の報告について								
2	第3次防府市観光振興基本計画の進捗状況の報告について								
3	意見交換								
4	その他								
■ 概 要	<p>【委員からの意見等を集約】</p> <p>○今後の旅行業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルを駆使し、人間にしかできないことに知恵を絞ることが重要。 <p>○第3次計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年柔軟に変更していく考え方はとても良い。 ・第2次計画から継続するものや中止するもの等の話がない。 ・「3本の矢」の縦軸にあるジャンル別が分かりにくいので、もっとシンプルにまとめた方が良い。 ・指標は、短期で完了するものや、継続的に行うものを整理し分かりやすく見やすい形にしてもらいたい。 <p>○観光看板について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型バス駐車場等、人が集まる場所に、大きく目立つ観光マップの看板があった方が良い。 <p>○ボランティアガイドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いので、若い人の加入について、市も勧誘や育成の協力をしてほしい。 <p>○プロモーションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは防府市民に防府の良さを知ってもらう必要がある。 ・Instagramの整備は必須であり、ネット系の戦略を立てるべき。 ・若者が自由な発想でテーマを掲げて取り組み、自主的に発信する仕組みができると思う。 ・動画は、短時間ものを多く作成し、シリーズ化し配信すれば効果が増す。 ・情報伝達ツールとして、SNSの拡散がメジャーとなっている。県観光連盟も観光客の動向を分析し、情報発信等についていろいろ試してみたい。 								

<p>■ 進 行</p>	<p>以下、発言要旨の文章表現は、簡略化している</p>
<p>1 開会 2 市長挨拶</p> <p>3 委員紹介 4 会長選任</p> <p>5 会長挨拶</p> <p>・会議の公開</p> <p>6 議事 (議長) (事務局)</p> <p>(議長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい委員にご就任いただき、また、本日ご多用中にもかかわらずご出席賜り、心から感謝申し上げます。 ・昨日は、来る 11 月 20 日、21 日「すごいぞ！防府 秋の大イベント」を開催するに当たり、一斉清掃活動を実施していただきお礼申し上げます。 ・昨年 2 月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で観光は大きなダメージを受けた。防府では、医師会、歯科医師会、薬剤師会の皆様のご協力のお陰で、ワクチン接種が順調に進んでおり、本日その感謝状を贈呈する。 ・ワクチン接種が進む中で、これから観光を元気にしなければいけないと考えている。 ・今回のコロナの影響で、これからの観光はイベントも含め、大きく変わるのではと思っているところである。 ・皆様のそれぞれの立場からのご意見を頂戴し、それを来年度予算に反映させ、皆様と一緒に防府の観光を盛り上げていきたいと思うので、よろしく願いしたい。 <p>(名簿順に出席された委員を紹介し、欠席された委員を伝えた。)</p> <p>会長に「羽嶋委員」を、副会長に「加藤委員」を選任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長にご指名いただき、感謝申し上げます。 ・観光地は作っていくものと思っており、情報発信も重要と考えている。 ・皆様からの意見を踏まえて、観光に力を入れていきたいと思っている。 <p>【異議なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は意見交換に重点を置きたいと思っている。 ・議題 1 と議題 2 について、事務局より一括で説明をお願いします。 <p>議題（1） 第 2 次防府市観光振興基本計画の K P I 達成等の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 次計画で目標指標に掲げた 10 項目の結果について説明。 (資料 1 「表 1 K P I /重要業績評価指標の達成度」) <p>議題（2） 第 3 次防府市観光振興基本計画の進捗状況の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度上半期の主な事業の進捗状況について説明。 (資料 2 「5 年間での取組 進捗状況調査票」) <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 次観光振興基本計画は、当協議会において、成果、検証とあわせて、必要に応じた計画変更を毎年行うこととしているが、観光は新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けており、初年度から計画の変更や見直しも考えられる。 ・ただいまの事務局からの報告に対する質疑応答はもちろんのこと、本市の観光について委員の自由闊達な意見交換を行いたいと思う。

議題（3） 意見交換	
（A 委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で旅行業は非常に大変な状況だが、ようやくお客が戻り始めている状況。 ・「旅行」とは、人間の本能だということを改めて感じた。遠くに行きたいという願望は、食欲とか睡眠欲と一緒に抑えることができない欲求だと思う。 ・今流行っている「バーチャルツアー」はコロナ禍においての話でバーチャルが主となることはないが、出張等については、オンライン会議が普及し、その便利さが分かっているの、リアルな出張等から置き換わったと考えている。 ・今後においては、デジタルが基本になる。デジタルができないことを人間がやるという形になると思う。観光列車が人気だが、地元の方が沿道で手を振ってくれる等の「おもてなし」が人気の要因で、デジタルには絶対にできないことである。 ・観光は世界が相手になるので、今後は、デジタルを駆使し、人間にしかできないことに知恵を絞ることが、より重要になってくると考える。
（B 委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次計画K P Iの判断は、コロナの影響が少ない令和元年のデータで判断しないと意味がない。 ・第3次計画でも、毎年チェックするような指標はあるのか。
（事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画では、取り組みの進捗状況での報告という形になる。 ・指標として、「認知度向上」「観光入込客数」「一人当たりの観光消費額」の3項目を掲げているが、認知度の順位や観光消費額については、毎年この時期の発表になる。
（B 委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次計画の指標 10 項目の反省をした中で、継続するもの中止するもの等という話が全くない。第3次計画では、細かい項目が多く分かりづらいので、短期で完了するもの、継続的に行うものを整理し、分かりやすく見やすい形にしてもらいたい。 ・認知度アップ等も、その分母が全国なのか県内なのか不明であり、データの取り方も分かりやすくできれば、対策方法も変わると思う。
（事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・指標については、単年度で終わるもの、5年間かけてやるものなどの分別を行う。 ・観光客及び認知度については、分母等も含めて指標の設定や、資料の見せ方についても、修正していきたいと思う。
（議長）	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度は、どのような方法で調査されたのか。
（事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画の18ページに、算出方法について記している。地域ブランド調査は、ブランド総合研究所が毎年実施しており、認知度はこの数字を用いている。 ・アンケートについては、ツアー等や地元のイベント、また、「うめてらす」等の施設においても実施している。
（議長）	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の中で、ブランド力、認知度を上げるために何をしたかの説明をお願いする。
（事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・防府商業高校（現、防府商工高校）生から、山口県の方言「幸せます」を防府市の

	<p>キャッチフレーズにしてはどうかという提案があり、防府商工会議所が「幸せます」を商標登録した。本市も「幸せます」のロゴを使用した本市キャラクター「ぶっちー」の名刺を作成し、県内外の各地に出向き、イベント等で配布するなど「幸せます」を前面に出しPRを行ってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度の取り組みについて、「防府天満宮、周防国分寺、毛利邸、阿弥陀寺」を「すごいぞ！防府」の4施設としてフォーカスし、コンベンション協会と共に、積極的に売り込んでいる。 ・今の民間調査の「認知度ランキング」は、様々な要素が加味されており、分析することが難しいが、この4施設の知名度はかなり高いと思う。この認知度ランキングに直接リンクしないかもしれないが、引き続き、「すごいぞ4施設」を含めた防府の魅力を積極的に発信していきたいと思う。 ・認知度の分母とデータの取り方についても、ターゲットを絞るなどの工夫も必要と思っており、今後もしっかり取り組んでいきたいと思う。
(C 委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画の毎年柔軟に変更していくという考え方は、とても良いと思う。 ・コロナ対策のルールがその時々で変わるので、イベントの企画が非常にやり辛い。ルールがしっかりと決まれば、イベントを企画しやすいと思う。 ・「すごいぞ！防府 秋の大イベント」について、今年は「大正ロマン」をテーマとして、全面的に押し出していく。来場者に旧山陽道を歩いていただく、防府天満宮から国分寺、毛利氏庭園までの間を会場としている。今年は、重源上人生誕900年ということもあり、阿弥陀寺も会場に加え、様々なイベントを企画している。
(D 委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・「すごいぞ！防府 秋の大イベント」は、昨年に引き続き今年も開催される素晴らしい取り組みだと思う。春バージョンも開催すれば良いと思っており、春は駅から天満宮に至るまでを、秋と同じように趣向を凝らして、防府のことがわかるようなストーリーを作ることで、防府の盛り上げを図ったらどうだろうか。
(議長)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年中止になったが、来春は商工会議所が「春の幸せますフェスタ」として開催予定であり、防府駅から天満宮にかけて行う一大イベントとして、コンベンション協会や市と連携し進めていきたいと考えている。以前は、「女みこし」をメインに、ギネスに挑戦等したが、来年は少し趣向を変えて進める予定にしている。
(E 委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・「防府観光ボランティアガイドの会」の会員数は現在約20名。高齢者が多いので、若い人の加入を望んでいるが、なかなか難しい。市にもボランティアガイドの会への勧誘と育成のお手伝いをお願いしたい。 ・最近若い方も防府に家を建てる人が多いので、防府は住みやすく子育てしやすいのだと思う。若いお母さんは子どもも小さく、車で移動することが多いので、駐車場の整備がもっと進んだら、お母さんたちの行動範囲も増えると思う。
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイドの育成については、総合計画の重点プロジェクトとしており、力を入れなければならないと認識している。

<p>(B 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年は防府商工高校の生徒もボランティアガイドの会と一緒に案内をしてもらう予定で、若い方にもガイドに参加していただき、いずれはボランティアガイド活動に携わるきっかけになればと考えている。 ・ 下半期以降も、様々な場所を案内できるガイドの育成に努めたいと思う。 ・ 「幸せます」は意味も魅力的で、「すごいぞ4施設」も歴史があり、本当に魅力的な施設だと思う。イベントに関しても、市と商工会議所とコンベンション協会がしっかり連携し行っていると感じる。一番大事なことは、どう伝えるかというところなので、いろいろ試しながら検証していくという柔軟な方針は非常に良いと思う。 ・ 第3次計画の取組で、生活文化「地域資源のプロモーション・市民への普及」とあるが、今行っていることは少しピントがズレているのではないかと懸念している。市外の人には毎週訪れることはなく、まずは防府市民に防府の良さを知ってもらわないといけない。特に若い人ならば、「映える」ものがあればネット等で情報発信するだろうし、それを見た人は、防府を知らなくても防府に行ってみようと思うものであり、やはりネット系のしっかりとした戦略を立てるべきと思う。 ・ 英雲荘の観月会のネット配信は良い考えだが、長時間の配信は観ないと思うので、5分程度の短時間でシリーズ物の動画を作成し、1～2週間毎に新しいものを配信していくことで、様々な人が楽しめるし、ネット検索でそれがヒットするなどメリットが大きい。それほど時間やお金をかけずとも、防府を知るきっかけになるので、ぜひ検討をお願いしたい。
<p>(議長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンベンション協会でも、毎日のように動画配信をしているがぜひ参考にしたい。
<p>(C 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は重源上人生誕 900 年ということで、阿弥陀寺のPR動画の募集をしたが、結構良い作品があった。予算の関係もあるだろうが、良い企画なので、他の施設も同様にやってみたら面白いと思った。
<p>(F 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信を促進するなら、インスタグラムの整備は必須だと思う。旅行を計画する際、以前なら Google 等で、“山口県観光”とか“防府市ランチ”というように検索していたが、最近はインスタグラムが主流で、「映える」場所を探して、同じ場所で写真を撮り、それを自分のページでも載せるというのが流行っているので、それがイメージできることが大事と思う。例えば、インスタグラムの投稿キャンペーンのようなものを行えば、そのうち市民が次々に各自で投稿するようになり、情報が増えれば、観光客が検索した時にそのページ自体が観光マップになる。そのような仕組みができると良いと思う。 ・ 山口市の産業交流拠点施設で、18 歳から 37 歳の 21 人がシェアハウスをしながら PBL（課題解決型学習）に取り組む「アカデミーハウス」があり、以前、「山口市の課題解決」が課題の時、“山口市をチョコレートのみちにする”というテーマを掲げて取り組むチームがあった。若者からすると、観光や市を盛り上げようという、軽い感じで考えられるものは取り掛かりやすい。防府市でも、若者が自由な発想でテーマを掲げて取り組み、自主的に発信してくれる仕組みができると良いと思う。

<p>(G 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防府市は、イベントやサイトでの情報発信も定期的に行っており、取組を着実に積み重ねているとの好印象を持っている。 ・情報伝達ツールとしては、SNSでの拡散がメジャーになっており、県観光連盟も、観光客の動きをデータ化し分析を行い、その結果を次のアクションに用いる考えで、現在コロナ以前のデータの分析を進めており、各市町には分析結果調整後にお知らせする予定である。 ・山口県は県民が県内を周遊することが多いという集計結果が出ている。他県では観光地が一か所に集中していることが多いが、山口県は観光地が県内各地に散らばっているのが特徴であり、言い換えれば、行くところに困らないということが他県にはない強みでもあると思う。 ・また、県西部の人は西方面、県東部の人は東方面にしか行かず、県央部の人は東西南北どの方向にも行く傾向がある。そのようなところも分析し、どこに向けてどの情報を発信するか等、いろいろ試してみたいと思う。 ・県観光連盟は、コロナの影響で昨年から中止している他県でのPRイベントやセールス活動を実施したいと思っているので、防府市もぜひ参加してもらいたい。
<p>(H 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画で、3本の矢の縦軸に、自然、歴史、スポーツ、生活文化とあるが、トイレや駐車場の整備など、内容が重なっていることも多々あり分かり辛い。例えば1番目は「メディアや認知度を上げる活動」、2番目は「観光施設の充実、看板やトイレ、駐車場の整備」、3番目に市内の様々なイベント関係をまとめた「イベント」という感じに、もう少しシンプルにまとめた方が見やすく分かりやすいと思う。 ・防府天満宮の大型バス駐車場等に、大きな観光マップの看板があれば良いと思う。看板は探せばあるとは思いますが、目に付きやすい場所にあった方がより良い。 ・観光に充てる時間は人それぞれなので、2時間コースや半日コース、1日コースなどの提案をネット上でも見られるようにした方が良い。観光客は、そのようなコース案を参考にして旅行プランを立てるので、例えば、レンタサイクルを利用して巡るルートなど、いろいろなパターンを見せて、出来れば一泊してもらえるような見せ方も必要だと思う。
<p>(議長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日も市長と看板について話をしたところなので、タイムリーな話だった。
<p>(C 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市は来年以降、企画していることなどあれば教えてもらいたい。
<p>(事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在予算を策定中であり、施設の整備面では、観光案内板について根本から見直し充実させたいと思っているので、そのための予算は確保しておこうと思っている。 ・「防府おどり」や「フリーマーケット」等については、コロナの影響で2年間実施できていないので、来年開催を前提に、盛り上げていくための賑わいの予算をコンベンション協会とも協議しながらしっかり確保したいと思っているところである。 ・今年度は、山口ゆめ回廊博覧会を12月まで開催しているが、来年度以降も広域の7市町の繋がりを維持しながら、特に山口市とは連携を強化し、新たなツアーの造成などもコンベンション協会と一緒に考えていきたい。

(議長)	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度事業に向けて、予算獲得をお願いしたいと思う。 ・意見も出尽くしたようなので、これで本日の協議を終了する。
(市長)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日お聞きしたことは、若い職員の意見も聞きながら、市としてしっかり対応していきたいと思う。 ・ボランティアガイドの話は、これは本当に重要なことだと認識している。 ・防府の歴史は、小学生や中学生にもしっかり理解してもらいたいので、教育委員会にも、ふるさと防府のことをしっかり学ばせるようにお願いしている。 ・案内看板については、市内道路上に設置している様々な看板について、現在点検中だが、道路標識とは異なるものと思われるので、市内の観光看板を統一化し一新させたい。 ・観光コースの話があったが、うめてらすからタクシーを使用すれば3時間で阿弥陀寺まで観ることができる。観光は3時間程度がちょうど良いと思うので、これから様々なコースなどについても、考えていきたいと思う。 ・イベントについても、コンベンション協会と一緒に盛り上げていきたいと思う。 ・実行計画については、目標有りきでなく、多くの人に来てほしいので、もっとわかりやすい目標が必要かもしれないと考える。 ・いかにテレビで取り上げてもらうか、いかにマスコミに書いてもらうか、影響が大きいマスメディアを使ってしっかりPRしていく。 ・市の財政負担を軽減するため、国からの補助が重要となる。国にも防府市は頑張っていることをしっかりPRしていく。 ・来年は新たな観光元年だという思いで、しっかりと取り組んでいきたい。
(議長)	<p>議題(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に、その他として事務局から何かあればどうぞ。
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の本協議会は、来年の3月に予定しており、計画の中身の見直し等も含め、来年度に取り組む事業等もお示しできると思うので、いろいろ意見交換をさせていただきたいと思う。
5 閉会	